

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 0 回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成 2 7 年 5 月 7 日 (木) 午前 9 時 3 0 分～正午		
開 催 場 所	学習室 C		
出 席 委 員	大嶋郁子委員、柿原朋子委員、小宮山とみ子委員、本多詮明委員、森廣美委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主査、千賀義幸。永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告 (4月23日開催)</p> <p>2 各講座の報告と計画 [報告] 成人学校「フラワーウォッチング」 [計画] 第32回貫井南センターまつり、高齢者学級「けやき学級」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、成人学校「アコースティックギター弾き語り入門」</p> <p>3 その他</p> <p>次回の日程 平成 2 7 年 6 月 2 日 (火) 午前 9 時 3 0 分～ 学習室 C</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（開催日：平成27年4月23日）

(1) 報告事項

ア 職員の人事異動について

本館の山崎庶務係長が子育て支援課へ。後任に生涯学習課から牛込が着任。本館の岡本が主任へ昇任昇格のうえ東分館（分館長）へ。東分館の倉澤が産休に入る。本館1人欠員となり臨時職員を配置、本館の吉川が再任用満期退職、長堀がフルタイムから通常の再任用勤務体制へ変更、貫井南及び緑分館は異動がなかった。

イ 平成27年度東京都公民館連絡協議会定期総会について

4月15日（水）日野市中央公民館において都公連定期総会が開催。平成26年度事業報告及び決算など審議され承認された。次年度の会長市は国分寺市となる。また、今年度開催の関東甲信越静公民館研究大会 in 東京の大会事務局は西東京市となる。都公連職員部会では新しい取り組みとして、東京学芸大学と連携して大学の公開講座に参加することとなり、係る費用は都公連が負担することとなる。

ウ 三者懇談会について

図書館協議会が担当となる。5月21日（木）午後1時45分から「生涯元気でいられる呼吸法」と題して図書館協議会の田中会長の講演を行なう予定。

エ 「2015青少年のための科学の祭典」について

10月4日開催のみ決定している。今回で10周年でありサイエンスショーも計画されている。今後三者で協議しながら公運審としての内容を5月には参加するか決定を行い、6月には内容の検討に入る予定。

オ 公民館事業の計画について

貫井南分館からはITサポートセンター「こがねいパソコン相談室」を提出。質疑なし。緑分館の「共働夢農園」について、応募が少ない理由の質問に対して、重複の申し込みによる制限や1年間と長期間に渡ることも考えられると回答。また、貫井北センターまつりについて食べ物が無いこと、市民がつくる自主講座〈男女共同参画部門〉は内容と男女共同参画とそぐわないものについて等の質問がされた。

カ その他

都公連委員部会が狛江市で行なわれ、今年度の研修は2回（9月、翌年1月を予定）とした。

(2) 審議事項

ア 公民館本館について

市では平成30年に新しい福祉会館を完成させることが計画されている。現段階では公民館が含まれていないが、スペースに余裕があり、今後、地域福祉課と協議していくこととなる。本館を本町分館へ暫定的に移ることも検討して

いるが、その後については白紙の状態であるが、近々の課題として本館をどうするかについて、審議会の意見を伺ったうえで市内でも話したいと考えている。事務局と事業開催場所が別になることも可としたい。

- ・本館というのは大事であり、居場所を必要とする人がいるので、是非確保してもらいたい。
- ・新しい福祉会館への参入はまだ、間に合うのではないか。
- ・公民館に長期的な絵はないのか。何か知らないうちにこの状態に遭遇した感がある。貫井北センターができた際に、初期的なビジョンはなかったのか。
- ・行き当たりばったりは止めてもらいたい。
- ・声を上げていかないと、市の考え方に飲みこまれてしまうと思われる。
- ・本館機能の果たせる場所は必要である。
- ・公民館という学ぶ場を軽んじられているとしたら残念である。市民の広場、学ぶ場を確保してもらいたい。

なお、東センター委託仕様書については、これまでの東センターの伝統を守る、企画実行委員の自由度を確保し、NPOの自由な発想ができるものとしたと考えている。

イ 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、成人学校「アコースティックギター弾き語り入門」を提出。質疑なし。貫井北分館の成人学校「四季の花づくり」については、参加者が作ったプランターを公民館の駐車場等に置くこととなる。

ウ 小金井市公民館手帳（案）について

名称は公民館手帳、表紙は旧公民館の版画と決め、前書きについては検討し、5月の審議会に初版本を配布する予定。

(3) その他

- ・科学の祭典については、第32期で案（5月の審議会）を作成し、実施は第33期のメンバーとなる。

次回の日程 5月28日（木）午後10時～ 本館学習室AB

2 各講座の報告と計画

【報告】

○成人学校「フラワーウォッチング」

この講座は、平成25年度から自然シリーズの第3段として、自然の多い小金井に触れることを目的に始まった講座である。4月8日は花の話しを貫井南分館で座学、16日は都立小金井公園で主にサクラを中心に観察、22日は都立野川公園（自然観察園中心）で野に咲く花々を観察し、全3回での開催となった。定員20人に対して応募20人、受講20人（男性5人、女性15人）、平均年齢は66.85歳（男性69.6歳、女性65.9歳）であった。応募者の住所も各町平均的に散らばっていた。16日（木）は、本来の開催日15日（水）の前日に雨天の予報であったため、早めに順延を決定しての開催となった。参加者の感想でも、この講座に参加したことで、小さな草花に目を留めるようになった等、概ね好評であった。ただ、野川自然観察園内の細い道では列が長くなり、講師の話しが聞き取れなかったのが

残念という意見もあり、配慮が必要であった。来年度も自然シリーズとして継続し、講師と相談しながら企画する予定である。

【計 画】

○第32回貫井南センターまつり

公民館イベント「琉球三線とおどり」について、定員50人に対して応募が75人と好調であった。当日の来館者を約30人と推測し、75人で受付終了とした。当日にかなりの人数が来ることも予想されたため、今回の受付は人数を把握することだけに留めた。当日の受付は在住の町名に丸をし、年代を聞くこととした。但し、席数を約70としても立ち見が出るのが予想されることから、電話受付をした方優先に受け付けていくこととした。また、当日は午後0時30分会場を基本とするが、状況を見て混乱を避けるため、早めることも検討する。また、整理券の配布も検討する。本番直前のリハーサルは午前11時30分から午後0時を予定。本場で会場の皆さんと踊る（カチャーシー）も検討していたが、参加人数が多いことと会場の関係で行なわない予定。出演者の食事については総勢16人であることから、踊り手は本番前に食べないとしているので、出演後に食事をする際には、学習室A・Bでダンスが始まることで団体利用室及び集会室がお茶会、ダンスの控え室となるため、駐車場（テント下）に席を設ける予定。

○高齢者学級「けやき学級」

今回の応募は41人と例年に比べると少なかった。これは貫井南分館に限らず本館のシルバー大学を除いては少ない傾向にあったようである。既に抽選を行い、班編成を行った。4班にそれぞれ企画実行委員も年間担当として就くこととなる。5月13日（水）には開講式を行なうこととなる。6月3日（水）の野外学習「東京臨海広域防災公園&東京スカイツリー」の行程については、全体的に時間的余裕がないためもう少し変更を行なう予定。確定次第、報告を行なう。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

6月15日（月）実施の野外研修は、くぼた園（山梨県山梨市）でのサクランボ狩りを予定、5月28日（木）に実踏を行なう予定。講座の応募は28人で2人が他館との重複応募、2人抽選当選後辞退者が出たが、24人（男性8人、女性16人）で講座開始となった。今年度から講師が1人体制となり、昨年度まで補助講師が行なっていたことを受講生に担当してもらったこととなった。

○成人学校「アコースティックギター弾き語り入門」

市報5月1日号、月刊こうみんかん5月号、ポスター、チラシとPRしているが、昨年度までと比べると、例年と比べると応募が少ない状況である。14日が申し込み期限となる。

3 その他 なし

次回の日程 6月2日（火）午前9時30分～ 学習室C